

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養
実務家教員授業	
学部・学科	美容学科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	140時間
授業コマ数	70コマ
授業概要	各講義、演習を通じ実社会での即戦力としての知識と実践力を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習及びディスカッションにより知識の定着を図る
達成目標	実務に見合った知識・技能を習得する
教科書	各テキスト
特記	
授業計画	<p>1 色彩学 第1章 色彩と文化(四季の色、日本の色の歴史)</p> <p>2 色彩学 //</p> <p>3 色彩学 (色と生活、色の種類)</p> <p>4 色彩学 //</p> <p>5 色彩学 第2章 色彩理論(色の仕組み、CIS表色系、色の三属性と対比現象)</p> <p>6 色彩学 //</p> <p>7 色彩学 (色の感情効果、配色効果)</p> <p>8 色彩学 配色練習</p> <p>9 色彩学 第3章 色彩とファッション(ファッション概論、ブライダルと色彩)</p> <p>10 色彩学 //</p> <p>11 色彩学 配色練習</p> <p>12 色彩学 第4章 パーソナルカラー</p> <p>13 色彩学 配色練習</p> <p>14 色彩学 直前模擬テスト</p> <p>15 色彩学 直前模擬テスト</p> <p>16 ビジネス基礎 漢字検定3級漢字の訓読み、電卓基本操作</p> <p>17 ビジネス基礎 // 送り仮名、電卓基本操作</p> <p>18 ビジネス基礎 // 熟語、電卓基本操作</p> <p>19 ビジネス基礎 // 誤字、電卓検定3、4級導入</p> <p>20 ビジネス基礎 // 訂正、電卓検定3、4級導入</p> <p>21 ビジネス基礎 // 同音異義、電卓検定3、4級計測</p> <p>22 ビジネス基礎 // 異字同訓、電卓検定3、4級計測</p> <p>23 ビジネス基礎 漢字検定3級項目別復習、電卓検定3、4級計測</p> <p>24 ビジネス基礎 漢字検定3級答練、電卓検定3、4級計測</p> <p>25 ビジネス基礎 漢字検定3級、電卓検定3級模擬テスト</p> <p>26 ビジネス基礎 漢字検定2級漢字の訓読み、電卓検定1、2級導入</p> <p>27 ビジネス基礎 // 送り仮名、電卓検定1、2級導入</p> <p>28 ビジネス基礎 // 熟語、電卓検定1、2級導入</p> <p>29 ビジネス基礎 // 誤字、電卓検定1、2級計測</p> <p>30 ビジネス基礎 // 訂正、電卓検定1、2級計測</p> <p>31 ビジネス基礎 // 同音異義、電卓検定1、2級計測</p> <p>32 ビジネス基礎 // 異字同訓、電卓検定1、2級計測</p> <p>33 ビジネス基礎 // 反対語、電卓検定1、2級計測</p> <p>34 ビジネス基礎 // 類義語、電卓検定1、2級計測</p> <p>35 ビジネス基礎 漢字検定2級、電卓検定2級模擬テスト</p> <p>36 コンピュータ実務 word 文章の作成①</p> <p>37 コンピュータ実務 word 文章内の移動①</p> <p>38 コンピュータ実務 word 文章の書式設定①</p> <p>39 コンピュータ実務 word オプションの設定、表示のカスタマイズ①</p> <p>40 コンピュータ実務 word オプションの設定、表示のカスタマイズ②</p> <p>41 コンピュータ実務 word 文章の印刷、保存①</p> <p>42 コンピュータ実務 word 文章の印刷、保存②</p> <p>43 コンピュータ実務 word 文字列・段落の挿入①</p> <p>44 コンピュータ実務 word 文字列・段落の挿入②</p> <p>45 コンピュータ実務 word 文字列・段落の書式設定①</p> <p>46 コンピュータ実務 word 文字列・段落の書式設定②</p> <p>47 コンピュータ実務 word 文字列・段落の書式設定③</p> <p>48 コンピュータ実務 word 文字列・段落の並び替え、グループ化①</p> <p>49 コンピュータ実務 word 文字列・段落の並び替え、グループ化②</p> <p>50 コンピュータ実務 word 文字列・段落の並び替え、グループ化③</p>

	51	コンピュータ実務	word	表の作成
	52	コンピュータ実務	word	表の変更①
	53	コンピュータ実務	word	表の変更②
	54	コンピュータ実務	word	リストの作成、変更①
	55	コンピュータ実務	word	リストの作成、変更②
	56	コンピュータ実務	word	参照のための情報・記号の作成、管理①
	57	コンピュータ実務	word	参照のための情報・記号の作成、管理②
	58	コンピュータ実務	word	標準の参考資料作成、管理①
	59	コンピュータ実務	word	標準の参考資料作成、管理②
	60	コンピュータ実務	word	模擬試験
	61	就職実務		就職の心構え、スケジュール
	62	就職実務		自己分析
	63	就職実務		自己分析
	64	就職実務		企業研究 (サロン実習先)
	65	就職実務		企業研究 (サロン実習先)
	66	就職実務		サロン実習事前準備 (自己紹介表作成)
	67	就職実務		サロン実習事前準備 (訪問準備)
	68	就職実務		履歴書作成
	69	就職実務		履歴書作成
	70	就職実務		定期テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価			
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。			

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	関係法規・制度
実務家教員授業	
学部・学科	美容学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	法制度の概要から我が国の衛生行政について学ぶとともに、美容師法の要求する美容師・美容所についての規定を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト(教育センター発行)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 法制度の概要(社会人における法の役割)</li> <li>2 法制度の概要(法の形式、衛生法規の概要)</li> <li>3 法制度の概要(理容師・美容師と附属法令、衛生行政の意義と歴史)</li> <li>4 衛生行政の概要(衛生行政の分類と生活衛生行政の内容、衛生行政を担う行政機関)</li> <li>5 美容師法(目的、用語の定義)</li> <li>6 美容師法(人(理容師・美容師)に関する規定)</li> <li>7 美容師法(人(理容師・美容師)に関する規定)</li> <li>8 美容師法(人(理容師・美容師)に関する規定)</li> <li>9 美容師法(人(理容師・美容師)に関する規定)</li> <li>10 確認テスト・解答・解説</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	衛生管理
実務家教員授業	
学部・学科	美容学科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	50時間
授業コマ数	25コマ
授業概要	美容業務において、人の健康に関わる事が多いため、プロとして求められる衛生管理の知識、技術をみにつけるようにする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト(教育センター発行)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 欧米、わが国の公衆衛生の歩み、消毒法の歴史</li> <li>2 保健所</li> <li>3 出生率の低下、母子保健水準の改善</li> <li>4 我が国における死亡率の低下、平均寿命の延び、生活習慣病とその対策、健康増進対策</li> <li>5 がん、心臓病、脳卒中</li> <li>6 糖尿病、喫煙、アルコール、身体活動・運動</li> <li>7 高齢者の保健と福祉、精神保健</li> <li>8 確認テスト1・解答・解説</li> <li>9 環境衛生の概要</li> <li>10 空気と健康、温度、湿度、気流と健康</li> <li>11 衣服の衛生、住居の衛生</li> <li>12 上水道、下水道、廃棄物</li> <li>13 衛生害虫、ネズミ、水質汚濁</li> <li>14 確認テスト2・解答・解説</li> <li>15 公衆衛生・環境衛生テスト、解答解説</li> <li>16 感染症発見の歴史、感染症と法律</li> <li>17 感染症の分類(法律上、身体への侵入、媒介経路、病原体別の分類)</li> <li>18 微生物の形と大きさ、微生物の構造</li> <li>19 微生物の増殖と環境の影響</li> <li>20 微生物の病原性と人体の感受性、汚染、感染及び発病</li> <li>21 常在細菌叢、免疫と予防接種</li> <li>22 感染症発生の要因</li> <li>23 感染症予防の3原則</li> <li>24 結核、ジフテリア、SARS</li> <li>25 鳥インフルエンザ、インフルエンザ、新型インフルエンザ</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	保健
実務家教員授業	
学部・学科	美容学科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	50時間
授業コマ数	25コマ
授業概要	美容師として必要な基礎的な人体の構造、皮膚科学について学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト(教育センター発行)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人体各部の名称、頭部、顔部、頸部の名称</li> <li>2 頭部、顔部、頸部の体表解剖</li> <li>3 骨の種類と構造、骨の連結、骨格器とそのはたらき</li> <li>4 筋の種類とその特徴、全身の主な骨格筋の名称、主な骨格筋とそのはたらき</li> <li>5 表情筋と表情運動、神経系の成り立ち</li> <li>6 中枢神経とそのはたらき、抹消神経とそのはたらき</li> <li>7 確認テスト1・解答・解説</li> <li>8 視覚～皮膚感覚</li> <li>9 血液のあらまし、血液循環の仕組み</li> <li>10 血液の循環経路、心臓と血管のはたらき</li> <li>11 呼吸器のあらまし、気道、肺の仕組みとガス交換、呼吸運動</li> <li>12 消化器系のあらまし、消化管の仕組み、消化管のはたらき、消化と物質代謝</li> <li>13 確認テスト2・解答・解説</li> <li>14 人体の構造及び機能 復習</li> <li>15 人体の構造及び機能 テスト、解答解説</li> <li>16 皮膚の表面、皮膚の断面</li> <li>17 表皮</li> <li>18 表皮と神秘の境、真皮、皮下組織、皮膚の部位差</li> <li>19 毛の構造</li> <li>20 毛の成長周期～立毛筋</li> <li>21 脂腺、汗腺、爪</li> <li>22 皮膚の血管、リンパ管、神経、対外保護作用</li> <li>23 体温調節機能、知覚作用と皮膚反射、分泌排泄作用</li> <li>24 呼吸作用～爪のはたらき</li> <li>25 確認テスト3・解答・解説</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	化粧品化学
実務家教員授業	
学部・学科	美容学科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	化粧品に用いられる原料の化学的性質や配合目的などについて学び、安全性及び使用目的について知識を深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト(教育センター発行)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 混合物と純物質 水の化学式(元素、元素記号) 原子量</li> <li>2 溶解(極性分子、水) 水への溶解(糖質と溶解度)</li> <li>3 コロイド溶液(サスペンション、エマルジョン、エアロゾル) 酸と塩基</li> <li>4 中和反応と塩 PH 緩衝作用と緩衝液</li> <li>5 酸化・還元 炭水化物とタンパク質</li> <li>6 化学分野の復習</li> <li>7 確認テスト1・解答・解説</li> <li>8 化粧品の規制(薬事法、化粧品・医薬部外品の違い) 表示・広告の規制</li> <li>9 化粧品原料 人体各部の性状(皮膚、毛髪、爪、まぶた、口唇)</li> <li>10 水性原料 油性原料(油脂、不乾性油)</li> <li>11 ロー類 炭化水素 高級脂肪酸</li> <li>12 界面活性剤(乳化、可溶化、分散、種類)</li> <li>13 高分子化合物(天然、半合成、合成、PVA、PVP)</li> <li>14 色材(無機顔料、有機顔料、光輝性顔料、天然色素)</li> <li>15 香料(天然香料、合成香料、調合香料)</li> <li>16 その他の配合成分(防腐剤、酸化防止剤、保湿剤、紫外線吸収剤、収れん剤)</li> <li>17 高分子化合物(合成樹脂) 石けん 化粧品</li> <li>18 クリーム 乳液</li> <li>19 まとめ・復習</li> <li>20 確認テスト2・解答・解説</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	文化論
実務家教員授業	
学部・学科	美容学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	古代から現代までの美容の歴史を振り返り、日本の基本的伝統文化の知識を習得する。また、これからの美容のあり方を考察する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト(教育センター発行)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 理容美容の語義、理容美容と現代社会</li> <li>2 理容業・美容業の発生、江戸時代の理容業・美容業</li> <li>3 近代の理容業・美容業、現代の理容業・美容業</li> <li>4 縄文・弥生・古墳時代、古代(飛鳥・奈良・平安時代)</li> <li>5 中世(平安末・鎌倉・室町・戦国時代)、近世Ⅰ(戦国末・安土桃山時代)</li> <li>6 近世Ⅱ(江戸時代)</li> <li>7 近代(明治・大正・昭和20年まで)</li> <li>8 現代Ⅰ(1945年～1950年代)、現代Ⅱ(1960年～1970年代)</li> <li>9 現代Ⅲ(1980年～1990年代)、現代Ⅳ(2000年代以降)</li> <li>10 確認テスト1・解答・解説</li> <li>11 古代エジプト、古代ギリシャ・ローマ</li> <li>12 古代ゲルマン、中世ヨーロッパ</li> <li>13 近世Ⅰ(16世紀)、近世Ⅱ(17世紀)</li> <li>14 近世Ⅲ(18世紀)、近代Ⅰ(18世紀末～19世紀初め)</li> <li>15 近代Ⅱ(19世紀)、現代Ⅰ(1910年代～1920年代)</li> <li>16 現代Ⅱ(1930年代～1940年代前半)、現代Ⅲ(1940年代後半～1950年代)</li> <li>17 現代Ⅳ(1960年代)、現代Ⅴ(1970年代)</li> <li>18 現代Ⅳ(1980年代)、現代Ⅶ(1990年代～2010年)</li> <li>19 ファッション文化史(西洋編)まとめ</li> <li>20 確認テスト2・解答・解説</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	美容技術理論
実務家教員授業	○
学部・学科	美容学科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義・演習・実習(実務経験のある教員による授業科目)
授業時間	90時間
授業コマ数	45コマ
授業概要	実務経験のある講師が、基礎的理論を基に技術に理論的根拠をあたえ、技術の習得を容易にする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習、実習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト(教育センター発行)
特記	実務経験のある講師が、基礎的理論を基に技術に理論的根拠をあたえ、技術の習得する
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 美容技術を学ぶにあたって(美容理論と美容技術、美容技術における作業姿勢、美容技術に必要な人体各部の名称)</li> <li>2 美容用具(美容技術における道具、コーム、ブラシ)</li> <li>3 美容用具(シザーズ、レザー)</li> <li>4 美容用具(ピン類・ヘアクリップ、ロッド、ローラー、ヘアアイロン、ヘアドライヤー、ヘアスチーマー、遠赤外線機)</li> <li>5 シャンプーイング(シャンプーイング総論)</li> <li>6 "</li> <li>7 シャンプーイング(サイドシャンプー)</li> <li>8 シャンプーイング(バックシャンプー)</li> <li>9 シャンプーイング(リンス・コンディショナー・トリートメント)</li> <li>10 シャンプーイング(リンス・コンディショナー・トリートメント)(スキャルプトリートメント)</li> <li>11 シャンプーイング(スキャルプトリートメント)(ヘッドスパ)</li> <li>12 ヘアデザイン(美容とデザイン)</li> <li>13 "</li> <li>14 "</li> <li>15 確認テスト1・解答・解説</li> <li>16 カットイング(ヘアブロッキングとは、シザーズとレザーの扱い方、美容刃物、ヘアカットイングの正しい姿勢、ブロッキング)</li> <li>17 カットイング(ヘアカットイングの基礎理論、ベーシックなカット技法)</li> <li>18 カットイング(シザーズによるカット技法、レザーによるカット技法)</li> <li>19 カットイング(実習:ワンレングス)</li> <li>20 "</li> <li>21 パーマネントウェービング(パーマネントウェーブの歴史と現在、パーマネントウェーブの総論、パーマの分類)</li> <li>22 パーマネントウェービング(パーマ剤に関する注意事項、パーマネントウェーブ技術)</li> <li>23 パーマネントウェービング(実習:ウェーブ)</li> <li>24 "</li> <li>25 パーマネントウェービング(ワインディングのバリエーション、縮毛矯正)</li> <li>26 パーマネントウェービング(実習:ストレート)</li> <li>27 "</li> <li>28 ヘアセッティング(ヘアセッティングとは、ヘアパーティング、ヘアシェーピング)</li> <li>29 ヘアセッティング(ヘアカーリング)</li> <li>30 ヘアセッティング(実習:カール)</li> <li>31 "</li> <li>32 ヘアセッティング(ヘアウェービング)</li> <li>33 ヘアセッティング(実習:ウェービング)</li> <li>34 "</li> <li>35 ヘアセッティング(ローラーカーリング、ブロードライ、アイロンセッティング、バックコーミング、アップスタイル、ウィッグとヘアピース)</li> <li>36 ヘアカラーリング(ヘアカラーリング総論、ヘアカラーの種類、ヘアカラーのタイプ別特徴)</li> <li>37 ヘアカラーリング(染毛のメカニズム、色の基本、毛髪のレベルとアンダートーン)</li> <li>38 ヘアカラーリング(パッチテスト、染毛剤使用時の注意事項、ヘアカラーリングの道具)</li> <li>39 ヘアカラーリング(酸化染毛剤の技術手順、酸性染毛料の技術手順、ヘアブリーチ)</li> <li>40 ヘアカラーリング(実習:ブリーチ)</li> <li>41 "</li> <li>42 確認テスト2・解答・解説</li> <li>43 まとめ)序章~3章</li> <li>44 まとめ)4章~5章</li> <li>45 まとめ)6章~7章</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	運営管理
実務家教員授業	
学部・学科	美容学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	サービス業としてお客様の求める価値を考え、提供し満足していただける接客、経営戦略を学ぶ。社会人として健全に働くために、労務管理、健康管理の重要性を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト(教育センター発行)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 経営が必要とされる理由～経営戦略が目指すもの 顧客に選ばれるよい店の実現</li> <li>2 業界の概要～理容業・美容業の顧客について</li> <li>3 資金管理の重要性～税金について</li> <li>4 人という資源とは～労働者の権利</li> <li>5 健康管理の基礎～理容・美容の作業環境に関する健康問題</li> <li>6 社会人としての責任・理容業・美容業の従業員としての責任</li> <li>7 確認テスト1・解答・解説</li> <li>8 顧客が求める価値～サービスの範囲</li> <li>9 理容業・美容業のマーケティング～サービスのシステム化</li> <li>10 接客についての理解～接客の実践③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	美容実習
実務家教員授業	○
学部・学科	美容学科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義・演習・実習(実務経験のある教員による授業科目)
授業時間	390時間
授業コマ数	195コマ
授業概要	実務経験のある講師が、美容基礎技術を基に技術の習得を容易にする
授業の進め方	テキストによる講義と、実習により技術を習得する
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト(教育センター発行)
特記	実務経験のある講師が、美容基礎技術を基に技術の習得する
	1 ワインディング(道具の使い方、セッティング) 2 ワインディング(プレーンリンス、コームの使い方) 3 ワインディング(ブロッキング・センターの取り方) 4 ワインディング(ブロッキング・サイドの取り方) 5 ワインディング(ブロッキングの確認) 6 " 7 ワインディング(上巻きの巻き方) 8 " 9 ワインディング(上巻きの確認) 10 " 11 ワインディング(下巻きの巻き方) 12 " 13 ワインディング(下巻きの確認) 14 " 15 ブロッキングのタイム計測 上巻き、下巻きの確認 16 " 17 ワインディング(ステムの確認、ステムのテンション、ロッドの配置) 18 " 19 ワインディング(頭の丸みに合わせたステム角度、ゴムのよじれ) 20 " 21 ワインディング(シェイプの基本) 22 " 23 ワインディング(上巻きと下巻きの繋ぎ方) 24 " 25 ワインディング(センターの巻き方) 26 " 27 " 28 " 29 ブロッキングタイム計測 30 " 31 センタータイム計測 32 " 33 " 34 " 35 ワインディング(右フロント～バックサイドの巻き方) 36 " 37 ワインディング(右フロント～バックサイドの確認) 38 " 39 ワインディング(右バックサイド～ネイプの巻き方) 40 " 41 ワインディング(右バックサイド～ネイプの確認) 42 " 43 センター綺麗巻き 44 " 45 " 46 " 47 ワインディング(左フロント～バックサイドの巻き方) 48 " 49 ワインディング(左フロント～バックサイドの確認) 50 " 

授業計画	51	ワインディング (左バックサイド～ネイプの巻き方)
	52	"
	53	ワインディング (左バックサイド～ネイプの確認)
	54	"
	55	ワインディング (フロントの入れ方確認)
	56	"
	57	ワインディング (右バックサイド～ネイプの入れ方確認)
	58	"
	59	ワインディング (左バックサイド～ネイプの入れ方確認)
	60	"
	61	ワインディング (全頭タイム計測)
	62	"
	63	"
	64	"
	65	
	～	ワインディング (全頭タイム計測35分)
	70	
	71	
	～	ワインディング綺麗巻き
	78	
	79	
	～	ワインディング (全頭タイム計測30分)
	98	
	99	
	～	ワインディング (全頭タイム計測25分)
	118	
119		
～	ワインディング (全頭タイム計測20分)	
138		
139		
～	学内コンテスト準備 (ワインディング タイム計測)	
148		
149	学内コンテストリハーサル (ワインディング)	
150	"	
151	学内コンテスト (ワインディング 20分ブロッキング別)	
152	"	
153	"	
154	オールウェーブウィッグ作成 (カット、セニング)	
155	"	
156	オールウェーブ (道具の使い方、セッティング)	
157	オールウェーブ (ローション塗布)	
158	オールウェーブ (コームの持ち方、シェープの仕方)	
159	オールウェーブ (シェープの仕方)	
160	オールウェーブ (Cカールの作り方)	
161	"	
162	オールウェーブ (Cカールの作り方2段)	
163	"	
164	オールウェーブ (Cカールの作り方4段)	
165	"	
166	Cカール4段確認	
167	"	
168		
～	サロン実務実習 (環境理解、衛生意識行動、美容技術習得)	
195		
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価	
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	職業実践
実務家教員授業	
学部・学科	美容学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習・実習
授業時間	160時間
授業コマ数	80コマ
授業概要	各実習、演習を通じ実社会での即戦力としての知識と実践力を習得する
授業の進め方	各種実習を通じて、基本知識の習得や技能の定着を図る
達成目標	実務に見合った知識・技能を習得する
教科書	なし
特記	
	1 サイドシャンプー (クロスの付け方、ブラッシング)
	2 サイドシャンプー (ウェット手順、ヘアドライ)
	3 サイドシャンプー (1シャンプー手順説明)
	4 "
	5 サイドシャンプー 1シャンプー 相モデル
	6 "
	7 "
	8 "
	9 サイドシャンプー (2シャンプー、スキャルプマッサージ手順説明)
	10 "
	11 サイドシャンプー 2シャンプー 相モデル
	12 "
	13 "
	14 "
	15 サイドシャンプーテスト
	16 ヘッドスパ手順説明
	17 "
	18 ヘッドスパ 相モデル
	19 "
	20 "
	21 ヘアデザイン 道具の使い方、一束、ピン留め
	22 ヘアデザイン コテ、アイロン、ホットカーラー
	23 ヘアデザイン 三つ編み、編み込み、ロープ編み、四つ編み丸型、エクステンション
	24 ヘアデザイン 本夜会巻き、新日本髪
	25 ヘアデザイン 定期テスト
	26 メイク メイク理論 (メイクとは)
	27 メイク メイク理論 (パーツの名称、美しい肌の条件)
	28 メイク メイク理論 (肌トラブルと原因、筋肉)
	29 メイク 実技 (クレンジング)
	30 メイク メイク理論 (クレンジングの目的、種類)
	31 メイク 実技 (クレンジング～乳液)
	32 メイク "
	33 メイク 実技 (スキンケアの目的、皮膚の色)
	34 メイク 実技 (化粧水～ファンデーション)
	35 メイク "
	36 メイク 実技 (化粧水～ファンデーション、ハイライト、ローライト、チーク)
	37 メイク "
	38 メイク 実技 (ファンデーション～アイブロウ)
	39 メイク "
	40 メイク 実技 (ポイントメイク)
	41 メイク "
	42 メイク 実技 (ポイントメイク、アイブロウ)
	43 メイク "
	44 メイク 実技 (ポイントメイク、アイブロウ～アイシャドウ)
	45 メイク "
	46 メイク メイク理論 (ベースメイクの目的)
	47 メイク "
	48 メイク メイク理論テスト 解答・解説
	49 メイク 実技 テスト前演習
	50 メイク 実技メイクテスト

51	カット (シザーの使い方、コームの使い方)
52	ワンレングスカット (ワンレングスとは、カット手順説明)
53	ワンレングスカット (ネイプ、バックトップの切り方)
54	ワンレングスカット (サイドの切り方)
55	グラデーションカット (グラデーションとは、カット手順説明)
56	グラデーションカット (ガイドの切り方)
57	グラデーションカット (ネイプ～ミドルの切り方)
58	グラデーションカット (サイド～トップの切り方)
59	グラデーションカット2 (ブロッキング、ネイプの切り方)
60	グラデーションカット2 (エレベーション&ダイレクション)
61	グラデーションカット3 (ブロッキング、アウトライン)
62	グラデーションカット3 (エレベーション&ダイレクション)
63	ブロー (デンマンブラシの使い方)
64	ブロー (ロールブラシの使い方)
65	パーマ (パーパスの巻き方)
66	パーマ (薬剤の付け方)
67	ブリーチ (道具の使い方、ウィービング)
68	ブリーチ (ウィービング実践)
69	ブリーチ (全頭)
70	"
71	"
72	ウィッグ制作 (ブリーチ)
73	"
74	"
75	ウィッグ制作 (カラーリング)
76	"
77	"
78	ウィッグ制作 (カラーリング)
79	"
80	"
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養	
実務家教員授業		
学部・学科	美容学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	130時間	
授業コマ数	65コマ	
授業概要	各講義、演習を通じ実社会での即戦力としての知識と実践力を習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習及びディスカッションにより知識の定着を図る	
達成目標	実務に見合った知識・技能を習得する	
教科書	各テキスト	
特記		
授業計画	1	サービス接遇 サービススタッフの資質(必要とされる要件、従業要件)
	2	サービス接遇 //
	3	サービス接遇 //
	4	サービス接遇 専門知識(サービス知識、従業知識)
	5	サービス接遇 //
	6	サービス接遇 //
	7	サービス接遇 //
	8	サービス接遇 社会常識
	9	サービス接遇 //
	10	サービス接遇 //
	11	サービス接遇 //
	12	サービス接遇 対人技能(人間関係、接遇知識)
	13	サービス接遇 //
	14	サービス接遇 対人技能(話し方、服装)
	15	サービス接遇 //
	16	サービス接遇 //
	17	サービス接遇 //
	18	サービス接遇 3級模擬テスト
	19	サービス接遇 //
	20	サービス接遇 //
	21	コンピュータ実務 excel ワークシートやブックの作成と管理
	22	コンピュータ実務 excel テーブルの作成
	23	コンピュータ実務 excel 関数を使用時のデータ集計①
	24	コンピュータ実務 excel 関数を使用時のデータ集計②
	25	コンピュータ実務 excel 関数を使用時の条件付き計算①
	26	コンピュータ実務 excel 関数を使用時の条件付き計算②
	27	コンピュータ実務 excel 関数を使用して文字列を整形、変更①
	28	コンピュータ実務 excel 関数を使用して文字列を整形、変更②
	29	コンピュータ実務 excel グラフの作成①
	30	コンピュータ実務 excel グラフの作成②
	31	コンピュータ実務 excel グラフの書式設定
	32	コンピュータ実務 excel オブジェクトの挿入や書式設定
	33	コンピュータ実務 excel テーブルの作成、管理①
	34	コンピュータ実務 excel テーブルの作成、管理②
	35	コンピュータ実務 excel テーブルのスタイル設定、オプション管理①
	36	コンピュータ実務 excel テーブルのスタイル設定、オプション管理②
	37	コンピュータ実務 excel テーブルのフィルター、並べ替え①
	38	コンピュータ実務 excel テーブルのフィルター、並べ替え②
	39	コンピュータ実務 excel データのアウトラインを作成
	40	コンピュータ実務 excel 模擬試験
	41	就職実務 サロン実習(振り返り)
	42	就職実務 企業研究
	43	就職実務 志望動機
	44	就職実務 面接練習(面接試験における質問研究)
	45	就職実務 面接練習(挨拶・お辞儀・入退室確認)
	46	就職実務 面接力トレーニング(自己PR・志望動機・面接演習質問)
	47	就職実務 職場のマナー(学校と職場の違い、職場マナー)
	48	就職実務 職場のマナー(仕事の進め方、「ほう・れん・そう」とは)
	49	就職実務 挨拶と敬語(挨拶の種類、笑顔・お辞儀、正しい敬語の使い方)
	50	就職実務 挨拶と敬語(挨拶の種類、笑顔・お辞儀、正しい敬語の使い方)



	51	就職実務	挨拶と敬語（応対の基本）
	52	就職実務	挨拶と敬語（応対の基本）
	53	就職実務	電話応対STEP1（電話応対のマナー、電話の受け方）
	54	就職実務	電話応対STEP1（電話のかけ方）
	55	就職実務	電話応対STEP2（電話のかけ方）
	56	就職実務	接客マナー（接客応対のプロとして、店内接客の基本）
	57	就職実務	クレーム応対（クレームとは、クレーム応対方法、電話でのクレーム応対、店内でのクレーム応対）
	58	就職実務	クレーム応対（クレームとは、クレーム応対方法、電話でのクレーム応対、店内でのクレーム応対）
	59	就職実務	社会人マナー（郵便の知識とFAX送信状、冠婚葬祭のマナー）
	60	就職実務	社会人マナー（贈答のマナー、会食のマナー）
	61	就職実務	社会人マナー（職場でのNG）
	62	就職実務	電話応対STEP2（状況別の電話応対）
	63	就職実務	電話応対STEP2（状況別の電話応対）
	64	就職実務	電話応対STEP2（状況別の電話応対）
	65	就職実務	定期テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%	基本的な知識を測定する試験で評価	
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	関係法規・制度	
実務家教員授業		
学部・学科	美容学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	10時間	
授業コマ数	5コマ	
授業概要	法制度の概要から我が国の衛生行政について学ぶとともに、美容師法の要求する美容師・美容所についての規定を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る	
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする	
教科書	テキスト（教育センター発行）	
特記		
授業計画	1	美容師法（施設（理容師・美容師）に関する規定
	2	美容師法（施設（理容師・美容師）に関する規定
	3	美容師法（立入検査と衛生監視員、違反者等に対する行政処分、罰則）
	4	関連法規
	5	関係法規テスト・解答・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	衛生管理
実務家教員授業	
学部・学科	美容学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	美容業務において、人の健康に関わる事が多いため、プロとして求められる衛生管理の知識、技術をみにつけるようにする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト(教育センター発行)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 麻しん、百日せき、風しん</li> <li>2 細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、A型肝炎</li> <li>3 B型肝炎、C型肝炎、エイズ、梅毒</li> <li>4 ラッサ熱、ペスト、デング熱、具体的な対策例</li> <li>5 確認テスト3・解答・解説</li> <li>6 消毒とは、消毒の意義</li> <li>7 消毒に関連のある法の規定</li> <li>8 消毒法の種類、消毒に必要な条件、病原微生物の抵抗力、消毒薬の使用、保存の注意</li> <li>9 紫外線消毒、煮沸消毒、蒸気消毒</li> <li>10 アルコール消毒、次亜塩素酸ナトリウム消毒、界面活性剤消毒、グルコン酸クロルヘキシジン消毒</li> <li>11 すぐれた消毒法と実施上の注意、希釈倍数</li> <li>12 器具類の消毒法</li> <li>13 美容所の清潔法の実際</li> <li>14 衛生管理の実践例 目的、施設及び設備、管理</li> <li>15 衛生的扱い等、消毒～自主的管理体制、美容所の自主管理点検表</li> <li>16 確認テスト4・解答・解説</li> <li>17 公衆衛生、環境衛生 復習</li> <li>18 感染症 復習</li> <li>19 衛生管理技術 復習</li> <li>20 衛生管理テスト・解答・解説</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	保健
実務家教員授業	
学部・学科	美容学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	美容師として必要な基礎的な人体の構造、皮膚科学について学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト(教育センター発行)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 皮膚と全身状態～皮膚と体内病変</li> <li>2 皮膚の水分と脂の状態～皮膚・付属機関とホルモン</li> <li>3 皮膚の保護と手入れ～子どものおしゃれによる皮膚トラブル</li> <li>4 皮膚の異常とその種類～皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹(カブレ前半)</li> <li>5 皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹(カブレ後半～湿疹患者のケア)</li> <li>6 分泌異常のによる皮膚疾患～ウイルスによる皮膚疾患</li> <li>7 真菌による皮膚疾患～感染症の皮膚疾患の予防</li> <li>8 毛と爪の疾患、皮膚の腫瘍</li> <li>9 確認テスト4・解答・解説</li> <li>10 皮膚科学 復習</li> <li>11 皮膚科学 テスト、解説</li> <li>12 人体 人体の構造、骨格器系 復習</li> <li>13 人体 筋系、神経系 復習</li> <li>14 人体 感覚器系、血液・循環器系 復習</li> <li>15 人体 呼吸器系、消化器系 復習</li> <li>16 皮膚科学 皮膚の構造、皮膚付属器官の構造 復習</li> <li>17 皮膚科学 皮膚の循環器系と神経系、皮膚と皮膚付属器官の生理機能 復習</li> <li>18 皮膚科学 皮膚と皮膚付属器官の保健 復習</li> <li>19 皮膚科学 皮膚と皮膚付属器官の疾患 復習</li> <li>20 保健テスト・解答・解説</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	化粧品化学	
実務家教員授業		
学部・学科	美容学科	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	化粧品に用いられる原料の化学的性質や配合目的などについて学び、安全性及び使用目的について知識を深める	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る	
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする	
教科書	テキスト(教育センター発行)	
特記		
授業計画	1	シャンプー リンス スタイリング剤
	2	パーマ剤(第1剤と第2剤の違い) 一時染毛剤
	3	永久染毛剤
	4	育毛剤
	5	芳香製品(香水、オーデコロン) サンケア製品(サンスクリーン製品、サンタン製品)
	6	まとめ・復習
	7	化粧品テスト・解答・解説
	8	国家試験対策(過去問)
	9	"
	10	"
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	文化論
実務家教員授業	
学部・学科	美容学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	古代から現代までの美容の歴史を振り返り、日本の基本的伝統文化の知識を習得する。また、これからの美容のあり方を考察する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト(教育センター発行)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 和装の礼装</li> <li>2 洋装の礼装</li> <li>3 第1章(総論)、第2章(第1節～第2節)復習</li> <li>4 第2章(第3節～第4節)復習</li> <li>5 第3章(第1節～第5節)復習</li> <li>6 第3章(第6節～第10節)復習</li> <li>7 第4章(第1節～第8節)復習</li> <li>8 第4章(第9節～第16節)復習</li> <li>9 第5章(礼装の種類)復習</li> <li>10 確認テスト3・解答・解説</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	美容技術理論
実務家教員授業	○
学部・学科	美容学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義・演習・実習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	実務経験のある講師が、基礎的理論を基に技術に理論的根拠をあたえ、技術の習得を容易にする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習、実習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト(教育センター発行)
特記	実務経験のある講師が、基礎的理論を基に技術に理論的根拠をあたえ、技術の習得する
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 エステティック(エステティック概論、皮膚の生理と構造)</li> <li>2 エステティック(カウンセリング、美容におけるマッサージ理論、ボディケア技術、ボディマッサージ)</li> <li>3 エステティック(フェイシャルケア技術、フェイシャル及びデコルテマッサージ、フェイシャルパック)</li> <li>4 エステティック(実習:フェイシャルケア)</li> <li>5 ネイル技術(ネイル技術概論、ネイル技術の種類、爪の構造と機能)</li> <li>6 ネイル技術(爪のカットの形状、ネイル技術と公衆衛生、カウンセリング、ネイルケア、アーティフィシアルネイル)</li> <li>7 ネイル技術(実習:ネイルケア、ハンドマッサージ、ジェルネイル、ネイルアート)</li> <li>8 メイクアップ(メイクアップ概論、顔の形態学的な観察)</li> <li>9 メイクアップ(メイクアップと色彩、皮膚の生理と構造)</li> <li>10 メイクアップ(メイクアップの道具、スキンケア)</li> <li>11 メイクアップ(ベースメイクアップ、アイメイクアップ、リップメイクアップ)</li> <li>12 メイクアップ(ブラッシュオンメイクアップ、まつ毛エクステンション)</li> <li>13 メイクアップ(実習:まつ毛エクステンション)</li> <li>14 "</li> <li>15 日本髪(日本髪の由来、日本髪の各部の名称)</li> <li>16 日本髪(日本髪の種類と特徴、日本髪と調和)</li> <li>17 日本髪(日本髪の装飾品、日本髪の結髪道具)</li> <li>18 日本髪(日本髪の結髪技術、日本髪の手入れ)</li> <li>19 日本髪(かつら)</li> <li>20 着付けの理論と技術(実習:浴衣着付け)</li> <li>21 "</li> <li>22 着付けの理論と技術(着付けの目的、礼装)</li> <li>23 着付けの理論と技術(着物と季節、着物のいろいろ)</li> <li>24 着付けの理論と技術(帯、小物)</li> <li>25 着付けの理論と技術(着物各部の名称、着物のたたみ方)</li> <li>26 着付けの理論と技術(着付けの一般的要領、留袖着付け技術)</li> <li>27 着付けの理論と技術(振袖着付け技術、帯締め・帯揚げの結び方)</li> <li>28 着付けの理論と技術(男子礼装羽織・袴着付け技術、羽織のひもの結び方)</li> <li>29 着付けの理論と技術(女子袴着付け技術、婚礼着付けの際の注意事項)</li> <li>30 着付けの理論と技術(和装花嫁、洋装花嫁)</li> </ol>
成績評価方法(試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	運営管理
実務家教員授業	
学部・学科	美容学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	10時間
授業コマ数	5コマ
授業概要	サービス業としてお客様の求める価値を考え、提供し満足していただける接客、経営戦略を学ぶ。社会人として健全に働くために、労務管理、健康管理の重要性を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト(教育センター発行)
特記	「実務経験のある教員による授業科目」に対応
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 接客の実践④～問題を深刻化させないための対策・対処</li> <li>2 確認テスト2・解答・解説</li> <li>3 経営者の視点、人という資源 復習</li> <li>4 顧客のために 復習</li> <li>5 運営管理テスト・解答・解説</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	美容実習
実務家教員授業	○
学部・学科	美容学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義・演習・実習(実務経験のある教員による授業科目)
授業時間	510時間
授業コマ数	255コマ
授業概要	実務経験のある講師が、美容基礎技術を基に技術の習得を容易にする
授業の進め方	テキストによる講義と、実習により技術を習得する
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト(教育センター発行)
特記	実務経験のある講師が、美容基礎技術を基に技術の習得する
	1 オールウェーブ(Cカール4段)
	2 "
	3 オールウェーブ(Cカール確認)
	4 "
	5 オールウェーブ(リッジの作り方)
	6 "
	7 オールウェーブ(リッジの作り方確認)
	8 "
	9 オールウェーブ(リッジ2段の作り方)
	10 "
	11 オールウェーブ(リッジ2段の作り方確認)
	12 "
	13 オールウェーブ(リッジ4段の作り方)
	14 "
	15 オールウェーブ(リッジ4段の作り方確認)
	16 "
	17 リッジ4段確認
	18 "
	19 オールウェーブ(1段目のシェープの手順)
	20 オールウェーブ(スカルプチュアカールの作り方)
	21 オールウェーブ(1段目のシェープの確認)
	22 オールウェーブ(スカルプチュアカールの作り方)
	23 オールウェーブ(1段目の確認)
	24 "
	25 オールウェーブ(2段目のシェープの手順)
	26 オールウェーブ(2段目リッジの作り方)
	27 オールウェーブ(2段目のシェープの確認)
	28 オールウェーブ(2段目リッジの確認)
	29 オールウェーブ(1～2段の確認)
	30 "
	31 オールウェーブ(3段目のシェープの手順)
	32 オールウェーブ(スカルプチュアカールの作り方)
	33 オールウェーブ(3段目のシェープの確認)
	34 オールウェーブ(スカルプチュアカールの作り方)
	35 オールウェーブ(3段目の確認)
	36 "
	37 オールウェーブ(1～3段の確認)
	38 "
	39 1～3段目の確認
	40 "
	41 オールウェーブ(4段目のシェープの手順)
	42 オールウェーブ(リフトカールの作り方)
	43 オールウェーブ(4段目のシェープの確認)
	44 オールウェーブ(リフトカールの作り方)
	45 オールウェーブ(4段目の確認)
	46 "
	47 オールウェーブ(5段目のシェープの手順)
	48 オールウェーブ(逆リフトカールの作り方)
	49 オールウェーブ(5段目のシェープの確認)
	50 オールウェーブ(逆リフトカールの作り方)

## 授業計画

51	オールウェーブ (5段目の確認)
52	"
53	オールウェーブ (6段目のシェープの手順)
54	オールウェーブ (メイポールカールの作り方)
55	オールウェーブ (6段目のシェープの確認)
56	オールウェーブ (メイポールカールの作り方)
57	オールウェーブ (6段目の確認)
58	"
59	オールウェーブ (7段目のシェープの手順)
60	オールウェーブ (クロッキノールカールの作り方)
61	オールウェーブ (7段目のシェープの確認)
62	オールウェーブ (クロッキノールカールの作り方)
63	オールウェーブ (7段目の確認)
64	"
65	オールウェーブ (1～3段確認)
66	"
67	オールウェーブ (4～7段確認)
68	"
69	オールウェーブ (全頭確認)
70	"
71	"
72	"
73	オールウェーブ (全頭タイム計測)
74	"
75	"
76	"
77	"
78	"
79	"
～	学外コンテスト準備 (ワインディングタイム計測)
98	"
99	"
～	学生技術選手権準備 (ワインディングタイム計測)
118	"
119	カット (道具の使い方、セッティング)
120	カット (ブロッキングの取り方)
121	カット (ポイントの長さの切り方)
122	カット (フロントの切り方)
123	カット (アウトラインの切り方)
124	カット (ネイブの切り方)
125	カット (バックミドルの切り方)
126	カット (右サイドの切り方)
127	カット (左サイドの切り方)
128	カット (フロントの切り方)
129	カット (もみあげの切り方)
130	カット (みつえりの切り方)
131	カット (チェックカット)
132	カット (修正ポイント)
133	カット (ブロッキング～フロント確認)
134	"
135	カット (アウトライン～ネイブ確認)
136	"
137	カット (バック～サイド確認)
138	"
139	カット (フロント～チェック)
140	"
141	カット (全頭タイム計測)
142	"
143	"
144	"
145	"
146	"
147	"
148	"
149	"
～	学内コンテスト準備 (カット及び第2課題)
158	"
159	学内コンテストリハーサル (カット及び第2課題)
160	"
161	学内コンテスト (カット及び第2課題)
162	"

	163 衛生技術の理解 164                   " 165 技術マニュアルの確認 166                   " 167 道具の清掃 168                   " 169 ～ 国試対策 227 228 ～ サロン実務実習（環境理解、衛生意識行動、美容技術習得） 255
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	職業実践
実務家教員授業	
学部・学科	美容学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習・実習
授業時間	170時間
授業コマ数	85コマ
授業概要	各実習、演習を通じ実社会での即戦力としての知識と実践力を習得する。
授業の進め方	各種実習を通じて、基本知識の習得や技能の定着を図る。
達成目標	実務に見合った知識・技能を習得する。
教科書	なし
特記	<p>1 シャンプー バックシャンプー (サイドとバックの違い)</p> <p>2 シャンプー バックシャンプー (ウェット手順、ヘアドライ)</p> <p>3 シャンプー バックシャンプー (1シャンプー手順説明)</p> <p>4 シャンプー "</p> <p>5 シャンプー バックシャンプー 1シャンプー 相モデル</p> <p>6 シャンプー "</p> <p>7 シャンプー "</p> <p>8 シャンプー "</p> <p>9 シャンプー バックシャンプー (2シャンプー、スキャルプマッサージ手順説明)</p> <p>10 シャンプー "</p> <p>11 シャンプー バックシャンプー 2シャンプー 相モデル</p> <p>12 シャンプー "</p> <p>13 シャンプー "</p> <p>14 シャンプー "</p> <p>15 シャンプー バックシャンプーテスト</p> <p>16 シャンプー ヘッドスパ手順説明</p> <p>17 シャンプー "</p> <p>18 シャンプー ヘッドスパ 相モデル</p> <p>19 シャンプー "</p> <p>20 シャンプー ヘッドスパテスト</p> <p>21 ヘアデザイン デザイン考案</p> <p>22 ヘアデザイン デザイン考案・試作</p> <p>23 ヘアデザイン ウィッグ制作 (カラー)</p> <p>24 ヘアデザイン ウィッグ制作 (カラー)</p> <p>25 ヘアデザイン ウィッグ制作 (カラー)</p> <p>26 ヘアデザイン ウィッグ制作 (カラー)</p> <p>27 ヘアデザイン ウィッグ制作 (カラー)</p> <p>28 ヘアデザイン ウィッグ制作 (カラー)</p> <p>29 ヘアデザイン ウィッグ制作 (試作)</p> <p>30 ヘアデザイン ウィッグ制作 (試作)</p> <p>31 ヘアデザイン ウィッグ制作 (試作)</p> <p>32 ヘアデザイン ウィッグ制作 (試作)</p> <p>33 ヘアデザイン ウィッグ制作 (試作)</p> <p>34 ヘアデザイン 定期テスト (ウィッグ作品制作)</p> <p>35 ヘアデザイン 定期テスト (ウィッグ作品制作)</p> <p>36 イベント ガイダンス、経費見積もり作成、スタイル考案</p> <p>37 イベント スタイル考案</p> <p>38 イベント 制作 (ウィッグ練習)</p> <p>39 イベント 制作 (ウィッグ練習)</p> <p>40 イベント 制作 (メイク練習)</p> <p>41 イベント 制作 (メイク練習)</p> <p>42 イベント 制作 (デモ練習)</p> <p>43 イベント 制作 (デモ練習)</p> <p>44 イベント 制作 (デモ練習)</p> <p>45 イベント 制作 (デモ練習)</p> <p>46 イベント 完成作品見直し</p> <p>47 イベント 演出考案</p> <p>48 イベント 演出考案</p> <p>49 イベント リハーサル</p> <p>50 イベント 定期テスト</p>



## 授業計画

- 51 美容総合技術 ヘアスタイリングについて (似合わせ、効果的なスタイリング方法)
- 52 美容総合技術 スタイリング剤の種類 (トリートメントタイプ、クリームタイプ、ワックス、スプレー)
- 53 美容総合技術 ヘアアイロンの使い方 (カールアイロン、ストレートアイロン)
- 54 美容総合技術 ”
- 55 美容総合技術 スタイリング剤の使い方
- 56 美容総合技術 ”
- 57 美容総合技術 スタイリング考案
- 58 美容総合技術 カウンセリング 相モデル
- 59 美容総合技術 ヘアスタイリング実践 相モデル
- 60 美容総合技術 ”
- 【選択授業】
- 61 テクニカル ヘアスタイルについて (似合わせ、効果的なスタイリング方法)
- 62 テクニカル フォルムとシルエット (美しいヘアスタイルを考える)
- 63 テクニカル デザイン考案 (ヘアデザインのポイント、見せ方)
- 64 テクニカル ”
- 65 テクニカル ヘアデザイン画作成
- 66 テクニカル ”
- 67 テクニカル ウイッグ制作 (ブラントカット)
- 68 テクニカル ”
- 69 テクニカル ウイッグ制作 (セニングカット)
- 70 テクニカル ”
- 71 テクニカル ウイッグ制作 (ヘアカラー)
- 72 テクニカル ”
- 73 テクニカル ウイッグ制作 (メイク、デコレーション)
- 74 テクニカル ”
- 75 テクニカル ウイッグ制作 (スタイリング)
- 76 テクニカル ウイッグ制作発表
- 77 テクニカル エフェクトカット (チョップカット、ポインティング)
- 78 テクニカル ”
- 79 テクニカル エフェクトカット (ストロークカット、スライドカット)
- 80 テクニカル ”
- 81 テクニカル レザーカット (ワンレングス、グラデーション)
- 82 テクニカル ”
- 83 テクニカル レザーカット (セニング)
- 84 テクニカル ”
- 85 テクニカル ヘアスタイル制作 (カウンセリング 相モデル)
- 86 テクニカル ヘアスタイル制作 (カット ブラント)
- 87 テクニカル ヘアスタイル制作 (セニング)
- 88 テクニカル ヘアスタイル制作 (カラーリング)
- 89 テクニカル ヘアスタイル制作 (スタイリング)
- 90 テクニカル ヘアスタイル制作 発表
- 【選択授業】
- 61 メイク オリエンテーション
- 62 メイク ポイントクレンジング
- 63 メイク クレンジング
- 64 メイク 化粧水
- 65 メイク 乳液
- 66 メイク ベース
- 67 メイク 手指消毒～ベース 手技通し
- 68 メイク ”
- 69 メイク 手指消毒～ベース 相モデル
- 70 メイク ”
- 71 メイク ”
- 72 メイク 手指消毒～コントロール、コンシーラー、ファンデーション、ハイ・ロー・チーク
- 73 メイク 通しメイク 相モデル
- 74 メイク ”
- 75 メイク ”
- 76 メイク ”
- 77 メイク ”
- 78 メイク ”
- 79 メイク ”
- 80 メイク ”
- 81 メイク ”
- 82 メイク ”
- 83 メイク イメージメイク (90年代)
- 84 メイク ”
- 85 メイク 傷メイク (アザ、切り傷)
- 86 メイク 傷メイク (火傷、大けが)
- 87 メイク ハロウィンメイク (ゾンビ)
- 88 メイク ハロウィンメイク (作品準備)
- 89 メイク ハロウィンメイク (作品制作)

90	メイク	”
	【選択授業】	
61	アイラッシュエクステンション	まつ毛エクステ入門、衛生学、消毒、ワゴンセッティング
62	アイラッシュエクステンション	商材学①、ツイーザーワーク①
63	アイラッシュエクステンション	ツイーザーワーク②、テープワーク
64	アイラッシュエクステンション	生理学、病理学、装着レッスン、リムーブ
65	アイラッシュエクステンション	商材学②、テープワーク、装着
66	アイラッシュエクステンション	装着レッスン
67	アイラッシュエクステンション	病理学
68	アイラッシュエクステンション	装着レッスン
69	アイラッシュエクステンション	カウンセリング学、カウンセリング
70	アイラッシュエクステンション	装着レッスン
71	アイラッシュエクステンション	装着レッスン
72	アイラッシュエクステンション	装着レッスン
73	アイラッシュエクステンション	アフターカウンセリング学、アフターカウンセリング
74	アイラッシュエクステンション	装着レッスン
75	アイラッシュエクステンション	装着レッスン
76	アイラッシュエクステンション	デザイン学、デザインカウンセリング
77	アイラッシュエクステンション	装着レッスン
78	アイラッシュエクステンション	接客学、装着レッスン
79	アイラッシュエクステンション	装着レッスン
80	アイラッシュエクステンション	装着レッスン
81	アイラッシュエクステンション	マーケティング学
82	アイラッシュエクステンション	下まつ毛装着レッスン
83	アイラッシュエクステンション	下まつ毛装着レッスン
84	アイラッシュエクステンション	装着レッスン
85	アイラッシュエクステンション	装着レッスン
86	アイラッシュエクステンション	試験対策(学科)、模擬試験(実技)
87	アイラッシュエクステンション	模擬試験(実技)
88	アイラッシュエクステンション	定例試験(実技)
89	アイラッシュエクステンション	定例試験(実技)
90	アイラッシュエクステンション	松風公認試験(筆記)
	成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価
	備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。